

インドネシアのハサヌディン大

スマートキャンパス化へ

ACKグループらと実証事業

ACKグループとインドネシアのハサヌディン大学工学部は21日、「環境に優しいスマートキャンパス」の実現に向けた共同実証事業を行うことで合意した。ACKグループ傘下のオリエンタルコンサルタンツグループが、ハサヌディン大工学部の構内で「小水力発電・地中熱発電などを利した分散型再生可能エネルギーネットワークシステム

ム」と「地下雨水貯蔵タンクを利用した再生水利用システム」の構築を目指す。オリエンタルコンサルタンツグループは、「エコキャンパス」をコンセプトとしたハサヌディン大工学部整備事業（円借款事業）のプロジェクトマネジメント業務を担当し、計画立案から詳細設計、施工監理、機材調達支援までを実施。竣工後の校舎にスマートメ

ーターや小規模簡易太陽光発電システムを導入し、エネルギー消費量の「見える化」とエネルギー管理の効率化を実現するスマート化事業を展開している。

今回の共同実証事業は、同大工学部が目指すエコキャンパスづくりの一環。21日に同大工学部で行われた国際シンポジウムでオリエンタルコンサルタンツグループの関係者が「環境に優しいスマートキャンパス」と題して取り組みを講演した。